

# 日本語教員養成プログラム 山梨大学教育学部

報告者 仲本 康一郎(山梨大学)

1

## 概要

- 設置の経緯  
2008年4月 日本語教員養成プログラム設置  
日本語教育を専門的に学ぶコース横断型プログラム  
2012年4月 教育人間科学部から教育学部へ学部改組  
→ ゼロ免課程が廃止される
- 履修学生  
2008年4月～2012年3月頃まで  
国際文化課程 国際文化、共生社会、芸術運営コースの学生  
2012年4月～現在  
学校教育課程 言語教育、生活社会、幼少発達、障害児教育  
コースの学生が履修

2

## 背景と目標

- 国内外の日本語学校で日本語教師として働きたい  
日本語学校で働きたい、青年海外協力隊などに参加したい人にとって、日本語教育の基礎知識や技能を学ぶことができます。
- 日本の学校で外国人の子どもたちを支援したい  
日本の学校で日本語がわからなくて困っている子どもたちを支援するための知識や技能を身につけることができます。
- 多文化共生社会を実現する担い手になりたい  
異なる文化を背景とする外国人と共生する社会を実現するためのツールとなる異文化理解に関する知識と技能を学べます。

3

## 開講科目

- 【社会・文化・地域】  
日本文学概論、日本史概説、多文化共生論
- 【言語と社会】  
社会言語学、異文化理解、社会学概論、子ども文化論
- 【言語と心理】  
言語心理学、言語習得論、児童期心理学
- 【言語と教育】  
日本語教育概論、日本語教授法、日本語教育実習
- 【言語】  
日本語の文法、日本語の音声・音韻、日本語の文字・表記・語彙

所定の単位を修得すると大学から修了証が発行される！

4

## 日本語教育実習



- 授業の概要  
外国人児童生徒等に対する日本語学習支援活動に参加し、日本語指導の在り方や学習支援の方法を学ぶ
- 甲府市教育委員会との連携授業  
甲府市日本語学習センター校の先生方が実施する日本語教室で、教員補佐として授業に参加する
- 日本語指導や教材作りの手伝いをする(取り出し授業)
- 在籍学級の授業で教科学習の補助をする(入り込み指導)

5

## 今後の展望

- 学校教育の現場に応じたプログラムへの再編  
現行の日本語教育を中心としたプログラムから、日本の学校現場で必要とされる多文化教員を養成するプログラムへと移行し、多文化教育等に関する科目を増設する。
- 教員志望の学生の全員が履修できる授業の設置  
すべての教員志望の学生に対して、外国人児童生徒等教育に関する最低限の知識を習得するための授業科目として、「外国人児童生徒等教育概論(仮)」を設置する。

6